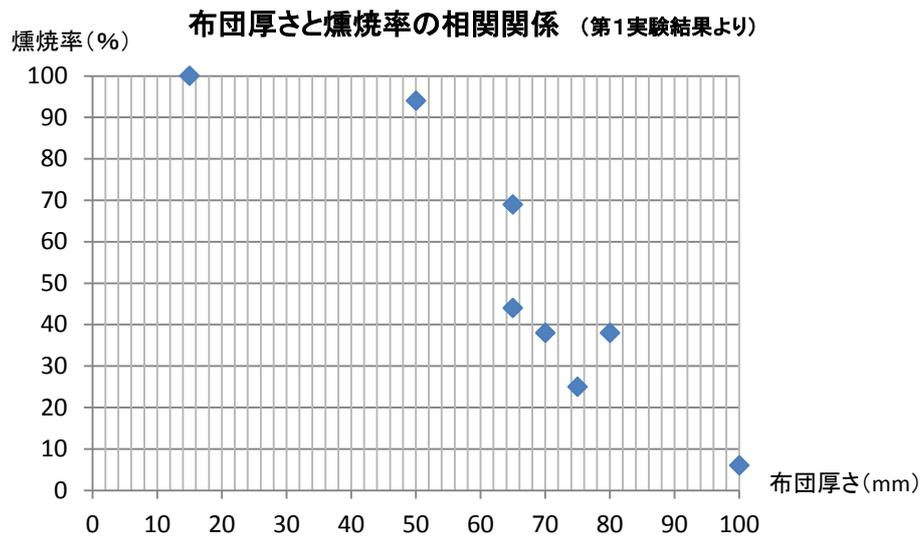


着火物に着目した実験結果及び防災寝具類について

布団厚さと燻焼率の関係

布団が圧縮されると燻焼率が上がる。



着火物の違い (綿布団と綿ポリ混合布団) による結果 (第2実験結果より)

燻焼については、たばこの種別に寄らず綿 100% 布団と綿ポリ混合布団に有意差がある。

	置消	燻焼
非 RIP たばこ	×	○
RIP たばこ	○	○

防災寝具類について ((公財) 日本防災協会ホームページより抜粋)

■ 防災寝具類の種類

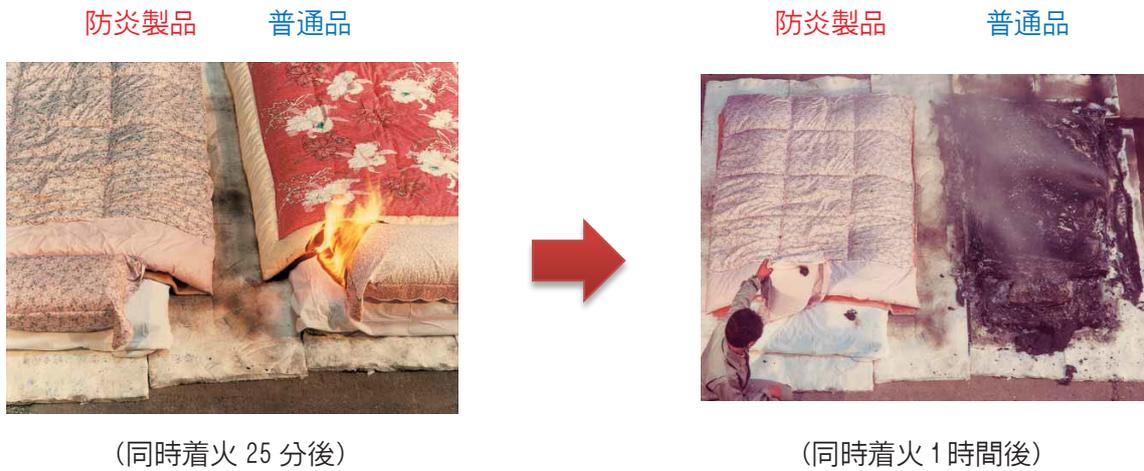
Kinds of flame retardant beddings

側地類(ふとん側地、マットレス側地、敷布、ふとんカバー、毛布カバー、枕カバー)
ふとん類(ふとん、座ふとん、ベッドパッド、枕、マットレス)
毛布類(毛布、ベッドスプレッド、タオルケット)

■ 防災寝具類の特徴

Merits of flame retardant beddings

1. 炎に触れても燃え広がらず、自己消火性があります。
2. 人体の健康上でも安全です。
3. 通気性、吸湿性、保温性も充分あります。
4. 弾性回復率も普通品と変わりません。
5. 見た目に美しく、よい感触です。



防災布団の流通状況

防災寝具類のうち、防災布団は布団全体の 0.5% 程度の流通量と見込まれる。

〔【寝具類】の防災ラベル交付状況〕 (単位 枚)

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
敷布・カバー類	101,949	110,166	156,818	181,534	174,125
ふとん類	100,850	91,082	81,160	78,668	127,698
毛布類	218,460	244,850	243,000	1,662,351	775,329
寝具類 合計	421,259	446,098	480,978	1,922,553	1,077,152

(公財)日本防災協会データ

〔布団流通枚数〕 (単位 千枚)

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
布団流通枚数	19,687	20,815	20,667	22,397	21,872

経済産業省・繊維統計データより抜粋